

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15136

準用河川改修事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	2	河川・水路の整備
取組方針	1	準用河川及び普通河川の改修

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	河川港湾課	田中 大道	435-1090
事業実施の根拠法令				関連課			

1 事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）			全体事業概要		
事業目的	【前代川】 前代川の現況流下能力不足で浸水被害が生じており、準用河川改修事業により治水安全度の向上を図る。 【永山川】 永山川・平尾川の現況流下能力不足で浸水被害が生じており、準用河川改修事業により治水安全度の向上を図る。			【前代川】 河道改修（拡幅及び築堤）及び放水路整備を行う。（R2年度完了） 【永山川】 河道改修（拡幅及び築堤）及びバイパス河川整備を行う。		
	事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
【永山川】 用地購入 1式 鉄道橋架替 市道橋架替		【永山川】 市道橋架替 護岸改修 用地購入	【永山川】 市道橋架替 護岸改修 用地購入	【永山川】 護岸改修 用地購入	【永山川】 護岸改修 用地購入	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	176,877	788,577	154,474	366,872	104,441	282,609	102,950	0	102,950	0
伸び率（%）	△61.9%	81.2%	△12.7%	△53.5%	△32.4%	△23%	△1.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	37,389	26,607	26,703	26,703	26,950	26,950	26,950	0	26,950
	正規職員以外	707	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38,096	26,607	26,703	26,703	26,950	26,950	26,950	0	26,950
国庫支出金	56,658	259,320	48,500	120,186	32,333	91,878	32,333	0	32,333	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	118,000	510,200	95,300	231,800	63,400	182,800	62,500	0	62,500	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	2,219	19,057	10,674	14,886	8,708	7,931	8,117	0	8,117	0
所要人数 （人）	正規職員	4.82	3.43	3.43	3.43	3.43	3.43	3.43	0.00	3.43
	正規職員以外	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	工事請負費96,000千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
活動指標	準用河川（永山川）の用地買収面積（累計）	m2	6261	6261	100%	6327	6304	99.9%
			6311	6304	99.9%	6855	6855	%
成果指標	準用河川（永山川）の用地買収率	%	57.1	57.1	100%	0	42.8	84.8%
			50.5	551	%	571	571	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	永山川、平尾川の流下能力不足、中上流部にある用水樋門による断面阻害により浸水被害が慢性化し、地球温暖化による気候変動に伴う台風や集中豪雨が増加している中、早急な浸水解消が必要である。
見直し・改善内容	国要望の継続及び国補正予算の活用により予算の確保に努め、永山川における浸水対策を推進する必要がある。